



2003年9月

## 大学における就職指導のあり方に関するアンケート調査

この調査は、厚生労働省の要請を受けて日本労働研究機構<sup>※1</sup>が行う「企業と連携した若年者のキャリア準備活動に関する研究会」の活動の一環として、大学における就職指導、企業との連携によるキャリア準備活動の今後のあり方などについて明らかにするために行うものです。

結果は統計的に処理を行いますので、貴校の回答が外部に漏れることはありません。また、貴校の回答結果であることが特定されるような形では情報を公開することはありません。

なお、ご回答いただいた学校には、アンケート結果の概要を送付させていただきます。就職指導の基礎資料としてご活用いただければと存じます。

何とぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

〈 記入上のおお願い 〉

1. この調査は、貴組織における就職指導の責任者の方がご記入ください。
2. 回答は、平成15年10月現在の状況をご記入ください。
3. 記入後は、**10月10日(金)**までに返送用封筒に封入して、投函してください。

※1 10月1日より独立行政法人労働政策研究・研修機構

### 問1 大学名 ( )

①学部の数と学生数の概算をご回答ください。

理工系	( 2. 2 ) 学部	中央値	約 ( 1, 172 ) 名
文科系	( 2. 4 ) 学部	中央値	約 ( 2, 034 ) 名
その他	( 1. 2 ) 学部	中央値	約 ( 800 ) 名
	総計	中央値	約 ( 2, 200 ) 名

②学生の出身地について、おおよその割合をお書きください。

1. 県内 ( 50. 0 ) %
2. 近県 ( 28. 3 ) %
3. その他 ( 22. 0 ) %

### 問2 平成15年3月卒の学生(昨年度4年生)の進路状況

①	在籍者数	中央値	( 546 ) 名
②	進学者数	中央値	( 49 ) 名
③	就職希望者数	中央値	( 388 ) 名
④	就職者数	中央値	( 351 ) 名
⑤	①のうち就職も進学もしない者の人数	中央値	( 102 ) 名

### 問3 記入者の役職名 ( ) ←できるだけ具体的をお願いします

### 問4 記入者の職掌を、あてはまるもの1つに○をつけてご回答ください。

1.	就職指導事務の専任職員	256校	79.3%
2.	学生部の兼任職員	30校	9.3%
3.	その他の兼任職員	9校	2.8%
4.	教員	22校	7.4%
5.	その他 ( )	4校	1.2%

**問5 就職指導にかかわる組織とその人員などについてお伺いします。**

①学部別に就職課、学生課などの就職指導のための事務組織がありますか。  
 1. ない                      2. ある

181校(55.7%)                      141校(43.8%)

②学部教授会内に就職指導のための委員会などの組織がありますか。  
 1. ない                      2. ある

89校(27.7%)                      232校(72.3%)

③学部外に、複数学部にまたがる就職指導の組織（就職部）などがありますか。  
 1. ない                      2. ある

127校(41.6%)                      178校(58.4%)

④就職指導のための部屋を設置していますか。（複数回答可）

- 1. 専用で、就職指導事務を行う部屋がある                      227校(69.8%)
- 2. 兼用で、就職指導事務を行う部屋がある                      59校(18.2%)
- 3. 専用で、学生が就職情報を閲覧できる部屋がある                      210校(64.6%)
- 4. 兼用で、学生が就職情報を閲覧できる部屋がある                      49校(15.1%)
- 5. 設置していない                      12校(3.7%)

⑤キャリア準備や就職活動のために学生が自由に使えるパソコンはありますか。

- 1. 自由に使えるパソコンがあり、インターネットも使える。                      299校(95.5%)
  - 2. 自由に使えるパソコンはあるが、インターネットは使えない。
  - 3. 自由に使えるパソコンはない。
- ※1, 2の場合、パソコンはどのくらいありますか？  
約(101)台

⑥就職指導に関わる人員は何名ぐらいですか。

教員・・・(11.2)名                      8割(79.6%)の大学で15名以下  
 職員・・・(5.6)名                      8割(79.7%)の大学で7名以下

⑦就職指導事務の年間予算（人件費をのぞく）はどれくらいですか。

約（1,473）万円

⑧就職指導担当の職員は、平均して何年程度で異動しますか。

- 1. 1～2年くらい                      20校(6.5%)
- 2. 3～5年くらい                      184校(59.4%)
- 3. ある程度詳しい職員が長期にわたって担当する                      105校(33.9%)

⑨キャリアコンサルタント、キャリアカウンセラーなどの学外の専門的人材を、非常勤などの形で活用していますか。

- 1. 活用している（具体的に                      )                      90校(28.0%)
- 2. 活用していないが、今後活用したい                      91校(28.3%)
- 3. 活用しておらず、今後も活用する予定はない                      138校(43.0%)

⑩学外の専門的な人材にはどのような能力を期待しますか。  
 自由にお書きください。

問6 学生の就職ガイダンス等への参加状況はどのくらいですか。  
おおよその割合をお書きください。

就職を希望する学生の約 ( 64.6 ) %

問7 貴校の学生への集団的な就職支援対策として、あてはまる番号を○で  
囲んで、ご回答ください。

	順調である	普通である	問題がある	実施してい ない
① 就職希望者に対する就職ガイダンス	44.1%	48.1%	6.8%	0.9%
② 外部の講師によるセミナー	34.8%	49.5%	5.8%	9.8%
③ 就職内定者による就職体験談発表会	35.6%	45.2%	5.3%	13.9%
④ OBによる講演会	26.0%	40.2%	5.3%	28.5%
⑤ 企業を招いての会社説明会	39.3%	31.0%	9.6%	20.1%

※「問題がある」場合には下に具体的にご記入ください。

↓

・就職ガイダンス
・外部講師のセミナー
・就職体験談発表会
・OBによる講演会
・会社説明会

問8 貴校の学生への個別的な就職支援の具体的な対策について、あてはまる  
番号を○で囲んで、ご回答ください。

	順調である	普通である	問題がある	実施してい ない
① 履歴書、エントリーシートの書き方指導	32.6%	57.2%	5.8%	4.3%
② 面接訓練	28.7%	54.9%	9.0%	7.4%
③ 適職診断のためのテスト	25.0%	49.7%	8.3%	17.0%
④ 企業情報の収集・理解対策	17.3%	70.3%	6.8%	5.6%
⑤ SPI対策	22.5%	54.5%	7.1%	16.0%
⑥ 資格取得講座	18.0%	42.1%	9.3%	30.7%
⑦ 公務員試験対策	18.3%	50.6%	11.5%	19.6%

※「問題がある」場合には下に具体的にご記入ください。

↓

・履歴書、エントリーシートの書き方指導
・面接訓練
・適職診断のためのテスト
・企業情報の収集・理解対策
・SPI対策
・資格取得講座
・公務員試験対策

問9 貴校のインターンシッププログラムについて、あてはまる番号を○で囲んで、ご回答ください。

- ①以下の項目のうち、貴校で実施しているインターンシッププログラムについて、該当するもの全てに○をつけて、参加者の人数をお答えください。  
(複数回答)

	参加者の人数
(6.5%) 正規の教育課程に位置づけられた授業科目で必修科目	中央値 約(105)名
(46.8%) 正規の教育課程に位置づけられた授業科目で選択科目	中央値 約(55)名
(13.6%) キャリア支援を目的とした就職指導の一環で単位認定がある	中央値 約(31)名
(27.5%) キャリア支援を目的とした就職指導の一環で単位認定はない	中央値 約(19)名
(32.4%) 企業などが実施するプログラムに学生個人が自由参加する	中央値 約(5)名
(10.2%) その他の形態( )	中央値 約(14)名

※キャリア支援を目的とした就職指導の一環であるインターンシップについてお伺いします。

- ②インターンシップの参加者の割合は、対象者のどのくらいですか。
- |         |            |         |            |
|---------|------------|---------|------------|
| 1. 9割以上 | 4校(3.4%)   | 2. 6~8割 | 5校(4.2%)   |
| 3. 5割前後 | 8校(6.8%)   | 4. 1~4割 | 27校(22.9%) |
| 5. 1割以下 | 74校(62.7%) |         |            |

- ③受け入れ先の企業数は何社くらいですか。 (43.8)社

- ④インターンシップの受け入れ先は、おもに誰が手配を行っていますか。  
あてはまる番号1つに○をつけてお答えください。

1. 全学の事務組織	45校	37.8%
2. 学部の事務組織	13校	10.9%
3. 教員による専門の委員会	13校	10.9%
4. 個々の研究室教員	4校	3.4%
5. 学生による専門の委員会	0校	0.0%
6. 学生個人	2校	1.7%
7. その他 ( )	42校	35.3%

- ⑤ インターンシップを行う上での問題点について、あてはまる番号を○で囲んでお答えください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	あてはまらない
ア) 企業との連携が難しい	27.0%	33.6%	27.9%	9.0%	2.5%
イ) 学内での連携が難しい	16.7%	32.5%	30.0%	11.7%	9.2%
ウ) 学生の事前指導が難しい	13.2%	39.7%	25.6%	14.0%	7.4%
エ) 教育的効果の評価が難しい	9.9%	28.1%	35.5%	14.0%	12.4%
オ) 学生の関心が薄い	16.4%	28.7%	27.9%	18.0%	9.0%
カ) 正規の学科との関連づけが難しい	21.5%	24.0%	33.1%	9.9%	11.6%
キ) 他の就職支援プログラムとの関連づけが難しい	5.0%	18.2%	31.4%	23.1%	22.3%
ク) 労働に対する対価の扱いが難しい	9.1%	10.7%	34.7%	24.8%	20.7%
ケ) その他、問題点について自由にお書きください					

問10 就職支援策にのってこない学生に対する援助の問題について、  
あてはまる番号を○で囲んでご回答ください。

	あてはまる	ややあてはまる	どちらとも言えない	あまりあてはまらない	あてはまらない
ア) 学生の就職に対する意欲が低い	40.8%	36.4%	15.0%	4.4%	3.4%
イ) アルバイトなど学生の他の活動に妨げられる	8.4%	40.6%	28.4%	13.1%	9.4%
ウ) 呼び出し指導などに応じない	10.3%	31.7%	25.7%	20.1%	12.2%
エ) 学生のニーズが分からない	5.3%	18.1%	42.8%	24.7%	9.1%
オ) 適切な指導の方法が分からない	2.8%	8.5%	38.4%	35.2%	15.1%
カ) 援助するための人材がない	3.1%	18.8%	29.4%	29.4%	19.4%
キ) 就職活動にかけられる時間が少ない	5.6%	21.9%	37.3%	23.8%	11.3%
ク) 行政からの支援が少ない	3.8%	10.0%	45.8%	23.8%	16.6%
ケ) 就職支援策にのらない学生は仕方ない	5.0%	18.9%	42.8%	18.2%	15.1%
コ) その他、問題点について自由にお書きください					

問11 学生のキャリア準備活動に有効な大学と企業との連携のあり方について  
あてはまる番号を○で囲んでご回答ください。

	必要である	やや必要である	あまり必要でない	必要でない
①学校と企業・経営者の交流活動を拡充すること	52.5%	37.5%	9.4%	0.6%
②大学への講師派遣型寄付講座を拡大すること	20.3%	48.4%	24.7%	6.6%
③企業による冠講座等の講義を拡大すること	17.1%	46.5%	27.7%	8.7%
④企業側が求める人材の能力や学校に期待する教育内容の把握に努めること	55.5%	38.9%	5.0%	0.6%
⑤働きながら学べるシステムを企業と協力して用意すること	19.2%	48.6%	27.1%	5.0%
⑥授業や試験を厳しくして、卒業時の学生の質を確保すること	29.8%	51.1%	16.9%	2.2%
⑦インターンシップなどを企業に積極的に受け入れてもらうこと	58.6%	36.1%	4.7%	0.6%
⑧求人情報をはじめとする情報提供を企業側に強化してもらうこと	46.9%	43.7%	8.5%	0.9%
⑨地域を主体とするキャリア支援機関に企業、大学ともに参画すること	39.7%	45.9%	12.2%	2.2%

※その他に、学生のキャリア準備活動に有効な大学と企業との連携のあり方について、自由にご意見をお書きください。

**○大学1年生、2年生など低学年生に対するキャリアガイダンス（長期の職業を中心とする人生設計を立てるに関する指導）についてご回答ください。**

問12 以下のプログラムのうち実施しているものに○をつけてご回答ください。実施している場合には、付問にもお答えください。

①キャリアプラン作成のための指導または講演会 ⇒

実施している	今後実施する予定はある	今後実施する予定もない	←該当するもの1つに○をしてください。
51.4%	26.0%	22.5%	

実施時期	( ) 月	4月 (16.2%)	10月 (12.0%)
対象者	( ) 年生対象	1～2年 (42.8%)	1年 (16.7%)
講師(当てはまるものに○)	キャリアセンター職員	24.5%	
	学内の教官	13.3%	
	学外講師	56.6%	
	その他	5.6%	
単位の付与の有無	ある	24.1%	なし 75.9%

②企業人、OBによる講演会 ⇒

実施している	今後実施する予定はある	今後実施する予定もない	←該当するもの1つに○をしてください。
50.8%	22.2%	27.0%	

実施時期	( ) 月	11月 (20.1%)	1年中 (8.7%)
対象者	( ) 年生対象	3年 (37.7%)	1～2年 (14.9%)
講師(当てはまるものに○)	キャリアセンター職員	0.7%	
	学内の教官	0.7%	
	学外講師	66.9%	
	その他	31.6%	
単位の付与の有無	ある	17.6%	なし 82.4%

③自己理解のための心理・適性テスト ⇒

実施している	今後実施する予定はある	今後実施する予定もない	←該当するもの1つに○をしてください。
54.5%	19.9%	25.6%	

実施時期	( ) 月	10月 (15.0%)	4月 (13.8%)
対象者	( ) 年生対象	3年 (42.4%)	1年 (13.7%)
講師(当てはまるものに○)	キャリアセンター職員	13.3%	
	学内の教官	7.1%	
	学外講師	51.3%	
	その他	27.9%	
単位の付与の有無	ある	3.2%	なし 96.8%

④1～2年生を対象とした個別面談（キャリアカウンセリング） ⇒

実施している	今後実施する予定はある	今後実施する予定もない	←該当するもの1つに○をしてください。
19.9%	34.0%	45.8%	

実施時期	( ) 月	1年中 (44.4%)	10月 (12.7%)
対象者	( ) 年生対象	1～2年 (58.8%)	2年 (15.7%)
講師(当てはまるものに○)	キャリアセンター職員	46.4%	
	学内の教官	27.5%	
	学外講師	15.9%	
	その他	10.1%	
単位の付与の有無	ある	3.0%	なし 97.0%

⑤その他に、大学低学年生の職業意識を啓発するためのプログラムを実施している場合は、その内容についてご回答ください。

問13 大学低学年生に対する職業（キャリア）意識啓発のプログラムとして、どのようなテーマを取り上げていますか。以下のテーマのうち、あてはまる番号に○をつけてご回答ください。

	取り上げている	取り上げる予定である	今後検討したい	取り上げる必要はない
①生きること・働くことの意義	52.6%	16.3%	28.9%	2.2%
②勤労観・職業観（例：仕事とは何か等）	53.9%	18.1%	27.3%	0.7%
③ジェンダーと労働	10.8%	12.4%	65.6%	11.2%
④労働契約と労働者の権利	9.7%	10.1%	62.9%	17.3%
⑤多様な働き方	30.1%	21.5%	40.6%	7.8%
⑥労働市場と賃金	15.0%	11.8%	57.3%	15.9%
⑦仕事と家庭のあり方	14.3%	15.1%	57.5%	13.1%
⑧企業論、組織論	22.6%	15.1%	47.2%	15.1%
⑨産業・経済の現状	36.5%	15.3%	40.8%	7.5%
⑩社会貢献・ボランティア	22.3%	17.6%	55.5%	4.7%
⑪自己理解	55.8%	15.6%	26.8%	1.9%
⑫職業理解（例：どんな仕事があるか等）	47.7%	20.3%	29.3%	2.6%
⑬職業・キャリア情報の調べ方	35.2%	24.1%	37.2%	3.6%
⑭大学での勉学と将来のキャリア	43.6%	22.0%	32.2%	2.3%
⑮キャリアプラン、ライフプラン	44.4%	25.2%	27.8%	2.6%
⑯生きがい・働きがい	42.4%	22.5%	32.8%	2.3%
⑰社会人としてのソーシャルスキル	29.0%	22.4%	46.7%	1.9%
⑱礼儀・マナー	45.5%	19.9%	32.3%	2.3%

問14 以下の事からは、今後の貴校の就職指導にどの程度あてはまりますか。あてはまる番号に○をつけてご回答ください。

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
①現在、実施しているプログラムをよりいっそう強化していきたい	63.0%	32.3%	2.8%	1.9%
②3～4年生対象のプログラムを1年生から対象としたものに変えたい	22.7%	31.2%	31.5%	14.5%
③現在の人員と予算でよりいっそう充実したプログラムを提供していきたい	38.4%	40.6%	16.2%	4.8%
④現在の体制を一新して新たにキャリアセンターとして発展させたい	19.9%	29.1%	31.6%	19.3%
⑤将来に対する動機づけを学生に与えようとしている	60.3%	35.0%	3.2%	1.6%
⑥学生に、自分の興味や関心についての理解を深めさせようとしている	55.4%	39.6%	3.2%	1.9%
⑦社会に対する興味や関心を学生にもたせようとしている	55.4%	39.9%	2.8%	1.9%
⑧教員との連携をよりいっそう強めようとしている	50.3%	39.9%	8.5%	1.3%
⑨就職指導に大学のカリキュラムとして単位を与えようとしている	25.3%	25.0%	26.3%	23.4%

⑩内部で実施しているプログラムの外部への委託をより進めようとしている	6.7%	28.4%	43.1%	21.7%
⑪学生の個人面談（キャリアカウンセリング）に力を入れたい	53.1%	41.5%	2.5%	2.8%
⑫就職部（またはキャリアセンター）主催のインターンシップに力を入れたい	23.6%	35.4%	26.4%	14.6%
⑬大学卒業後の未就職者への対応に力を入れたい	17.0%	46.9%	30.2%	6.0%
⑭求人確保のために企業訪問に力を入れたい	42.2%	46.9%	8.1%	2.8%
⑮就職部のホームページを充実させたい	40.4%	43.5%	10.1%	6.0%
⑯就職事務に関するコンピュータシステムを導入していきたい	36.3%	36.9%	18.4%	8.4%
⑰企業のノウハウを活用したプログラム運営をしたい	13.7%	35.0%	41.7%	9.6%
⑱OB、卒業生を活用して将来像を示したい	42.6%	46.4%	8.5%	2.5%
⑲同窓会組織などの後援団体の活用を行いたい	32.6%	37.0%	25.4%	5.0%
⑳複数の大学との連携強化によるプログラムの実施を行いたい	8.6%	28.3%	46.2%	16.9%
㉑地域社会と連携して学生のキャリア形成支援プログラムを構築していきたい	17.9%	41.2%	33.2%	7.7%
㉒就職の内定した4年生を活用した相談体制に力をいれたい	32.9%	37.0%	25.0%	5.1%
㉓就職指導を充実させるために学生を企画運営に参加させたい	20.4%	28.1%	38.3%	13.1%

問15 今後、大学と企業が連携して学生に対するキャリアガイダンスを進めていく上で、国、地方自治体などの行政機関に対する要望がある場合は、お書きください。

○今回のアンケート調査または研究プロジェクトについてご意見がございましたら、下にご記入ください。

○今回のアンケートの結果概要を送付させていただきますので、以下に連絡先をお書きください。

〒
TEL (       )       -

ご協力ありがとうございました。